

『本で読む：画家たちと戦争とその周辺』 展示に使用した本

名古屋市鶴舞中央図書館

	書名	著者名	出版社	出版年	請求記号
絵画	アヴァンギャルドの戦争体験	小沢節子／著	青木書店	1994	N70216/465
	絵具と戦争	溝口郁夫／著	国書刊行会	2011	7231/514
	絵筆のナショナリズム	柴崎信三／著	幻戯書房	2011	7231/527
	画家と戦争	河田明久／監修	平凡社	2014	7208/57
	画家たちの「戦争」	神坂次郎ほか／著	新潮社	2010	7231/488
	求道の画家松本竣介	宇佐美承／著	中央公論社	1992	N7231/1237
	シベリア鎮魂歌	立花隆／著	文芸春秋	2004	7231/284
	書痴、戦時下の美術書を読む	青木茂／著	平凡社	2006	7021/215
	戦場へ行った絵具箱	平松達夫／著	海鳥社	2003	7231/230
	「戦争」が生んだ絵、奪った絵	野見山暁治ほか／著	新潮社	2010	720/123
	戦争と美術と人間	司修／著	白水社	2009	7231/475
	戦争画リターンズ	平山周吉／著	芸術新聞社	2015	7231/661
	日本の近代美術10 不安と戦争の時代		大月書店	1992	N70216/453/10
	日本の戦争画	田中日佐夫／著	ペリかん社	1985	N7202/205
	フジタよ眠れ	菊畑茂久馬／著	葦書房	1978	N720/132
無言館はなぜつくられたのか	野見山暁治・窪島誠一郎／著	かもがわ出版	2010	720/121	
マンガ	戦争とマンガ	桜本富雄／著	創土社	2000	7261/193
音楽	戦争歌(いくさうた)が映す近代	堀雅昭／著	葦書房	2001	767/61
	歌と戦争	桜本富雄／著	アテネ書房	2005	767/159
	王道楽土の交響楽 満州-知られざる音楽史	岩野裕一／著	音楽之友社	1999	762/28
	「国民歌」を唱和した時代	戸ノ下達也／著	吉川弘文館	2010	7678/1005
	上海ブギウギ1945 服部良一の冒険	上田賢一／著	音楽之友社	2003	7978/503
	従軍歌謡慰問団	馬場マコト／著	白水社	2012	767/297
	昭和の作曲家たち	秋山邦晴／[著]	みすず書房	2003	7321/79
	総力戦と音楽文化	戸ノ下達也／編著	青弓社	2008	7621/164
	徹底検証・日本の軍歌	小村公次／著	学習の友社	2011	767/256
	信時潔	新保祐司／著	構想社	2005	7621/108
流行歌手たちの戦争	菊池清麿／著	光人社	2007	7678/763	
映画	戦時日中映画交渉史	晏妮／著	岩波書店	2010	7782/1621
	戦時下の日本映画	古川隆久／著	吉川弘文館	2003	7782/726
	総動員体制と映画	加藤厚子／著	新曜社	2003	7782/848
	「帝国」の映画監督坂根田鶴子	池川玲子／著	吉川弘文館	2011	7782/1721
	李香蘭の恋人	田村志津枝／著	筑摩書房	2007	7782/1345
文学	<外地>の日本語文学選1 南方・南洋・台湾	黒川創／編	新宿書房	1996	N9186/546/1
	戦場へ征く、戦場から還る	神子島健／著	新曜社	2012	91026/900
	中国語で残された日本文学	呂元明／著	法政大学出版局	2001	91026/248
	「帝国」の文学	絳秀実／著	以文社	2001	91026/212
	南方徴用作家叢書1 ジャワ篇	木村一信／編	竜溪書舎	1996	N9186/557/1
	文学報国会の時代	吉野孝雄／著	河出書房新社	2008	91026/586
	満洲崩壊 「大東亜文学」と作家たち	川村湊／著	文芸春秋	1997	91026/19

名古屋市美術館 『画家たちと戦争：彼らはいかにして生きぬいたのか』

会期：2015年7月18日(土)～9月23日(水・祝)

も、ぜひご覧ください。